

2022年6月及び暦年上期(1～6月期)のアルミニウム圧延品の生産・出荷動向について

2022年7月27日



1. 2022年6月のアルミニウム圧延品の生産・出荷概況

- ◆ 概況：
- ・板： 生産・出荷ともにマイナス。半導体製造製造装置向け厚板や印刷板などはプラスだったが、「缶材」「自動車」などの主要分野が減少した。
 - ・押出： 生産・出荷ともにマイナス。最大用途の「建設」は3ヶ月ぶりにプラスとなったが、「自動車」の大幅減が継続している。
 - ・はく： 生産・出荷ともにマイナス。「電気機械器具」向け「食品良品向け」ともにマイナスとなった。

・板類（主な分野のコメント） * 数字は出荷量、カッコ内は前年同月比

- (1) 缶材 35,138ト (▲ 5.0%)：行動制限が緩和され、外出機会が増加したことなどにより、家飲み需要が減少した。
- (2) 自動車 13,374ト (▲ 29.5%)：半導体不足に加え、中国の都市封鎖により生じた物流混乱などにより、部品供給が滞り自動車生産が減少。
(国内自動車生産台数の前年同月比推移：2月▲1.6%→3月▲17.3%→4月▲19%→5月▲16.4%)

・押出類（主な分野のコメント） * 数字は出荷量、カッコ内は前年同月比

- (1) 建設 37,957ト (▲ 3.4%)：サッシ、内外装ともに前年比増となった。(サッシ+1.8%、内外装+6.4%)
2022年5月の新設住宅着工戸数：67,193戸(前年同月比▲4.3%)
- (2) 自動車 9,458ト (▲ 22.3%)：板同様、国内自動車生産台数の減少により、マイナスとなった。

・はく（主な分野のコメント） * 数字は出荷量、カッコ内は前年同月比

- (1) 電気機械器具 4,107ト (▲ 38.7%)：コンデンサ、リチウムイオン電池ともに前年比減。リチウムイオン電池は昨年が高水準だったこともあり、大幅に減少した。
(コンデンサ：▲31.0%、リチウムイオン電池：▲45.0%)
- (2) 食料品 2,035ト (▲ 2.5%)：一部の食料品で包装材料が置き換わっていることなどもあり減少している。

◎2022年6月実績 生産および出荷(前年同月比、▲はマイナス)

	生産(トン)	前年同月比(%)	コメント		出荷(トン)	前年同月比(%)	コメント
板類	99,383	▲ 4.8	2ヶ月連続でマイナス	板類	100,172	▲ 5.4	3ヶ月連続でマイナス
押出類	60,148	▲ 5.7	6ヶ月連続でマイナス	押出類	61,466	▲ 4.5	4ヶ月連続でマイナス
板押計	159,531	▲ 5.1	3ヶ月連続でマイナス	板押計	161,638	▲ 5.0	4ヶ月連続でマイナス
はく	8,994	▲ 20.1	4ヶ月連続でマイナス	はく	8,744	▲ 20.9	4ヶ月連続でマイナス

2. 2022暦年上期（1-6月期）のアルミニウム圧延品の生産・出荷概況

（前年度比(%)、▲はマイナス）

	生産 (トン)	前年度比(%)	コメント		出荷 (トン)	前年度比(%)	コメント
板類	600,367	1.9	2年連続でプラス	板類	597,411	0.7	2年連続でプラス
押出類	339,267	▲ 3.0	マイナスに反転	押出類	345,559	▲ 2.4	マイナスに反転
板押計	939,634	0.1	2年連続でプラス	板押計	942,970	▲ 0.4	マイナスに反転
はく	56,668	▲ 7.9	マイナスに反転	はく	56,791	▲ 8.9	マイナスに反転

◆ 概況

2022年上半期の圧延品計は、生産は2年連続でプラス、出荷はマイナスに反転した。（生産+0.1%、出荷：▲0.4%）

板は車載用の半導体不足が続く中、中国のゼロコロナ政策による都市封鎖でサプライチェーンが混乱、部品供給が滞った結果国内自動車生産台数が大幅に減少、「自動車」向け板の出荷は二桁マイナスとなった。「缶材」は外出自粛などの行動制限が緩和される中、家庭用アルコール缶飲料は需要が減少したが外出機会の増加により清涼飲料の需要は回復し、缶全体ではほぼ前年並みとなった。半導体製造装置向けの厚板は需要旺盛、卸小売りを含む「その他」は前年比+21.0%と大幅に増加した。

押出は最大用途の「建設向け」住宅着工戸数の回復に伴いプラスとなったものの、「自動車」の大幅な減少を補いきれず出荷全体ではマイナスとなった。

箔は、需要をけん引してきたコンデンサ向けやリチウムイオン電池向けなどの「電気機械」が大幅に減少、「食料品」もマイナスとなった。

◆ 主な分野のコメント： * 数字は出荷量、カッコ内は前年同期比

板類

(1) 缶材 203,008トン (▲ 0.5%) : コロナ禍による行動制限が緩和され、外出機会が増加し、業務用ビールは前年比増となったが一方で家庭用のアルコール缶飲料は需要が減少した。なおボトル缶は前年比プラスだった。

(2) 自動車 91,204トン (▲ 14.6%) : 車載用半導体不足の他、上海ロックダウンなどコロナ感染の再拡大の影響を受けて部品供給網が混乱、国内自動車生産台数が大幅に減少した。

押出類

(1) 建設 206,010トン (1.9%) : 新設住宅着工戸数の回復に伴いプラスとなった
(サッシ・ドア:+2.1%、内外装向け:+1.9%)

(2) 自動車 57,140トン (▲ 17.8%) : 板同様、自動車生産の減少を受けて二桁マイナスとなった。

はく

(1) 電機機械器具 31,061トン (▲ 14.6%) : 自動車の減産や部品供給不足の影響により、コンデンサ、リチウムイオン電池ともに減少。前年同期が高水準だったこともあり、二桁マイナスとなった。

(2) 食料品 11,915トン (▲ 2.4%) : 外出自粛が緩和され、一部の食品は需要が回復したものの、包装材料の置き換わりなどがあり食料品全体ではマイナスとなった。